

平成30年度学校評価報告書

平成31年 3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路湖陵高等学校長 西 堀 隆 亮 印

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

【全日制】

1 本年度の重点目標

1	全ての生徒に基礎・基本を確実に定着させ、高いレベルの学力を育成する。
2	生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、全校体制でその実現に努める。
3	心身の鍛錬を通じ、自他を尊重するとともに社会に貢献しようとする、強固な精神力を持つ人材を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	S S H・S C R U M・医進類型などの研究指定事業を初めとして様々な取組が適切に実施され、評価・改善へと結びつけられている。	学習指導における「自己評価」はほぼ適切である。今後もアクティブ・ラーニングを通じた授業改善を充実させ更なる学力向上を図って欲しい。
改善方策	コンピテンス基盤型教育を推進するために全ての教科・科目でコンピテンスを明確にした学習指導と評価の一体化を充実させる。	
生徒指導	生徒会や部活動を通じて主体性と協働性を身に付けるとともに、地域貢献に寄与することができた。S Cの活用やいじめ防止等対策委員会を定期的に開催するとともにS N Sに係る講演会を実施し自他を尊重する教育を推進した。	生徒指導についての「自己評価」はほぼ適切である。生徒会や部活動を通じて豊かな人間性を育むことができている。
改善方策	高いレベルで生徒の主体性と協働性の育成を目指し、「考えさせる指導」を重視し、高い人間性を育成していく。	
進路指導	生徒や保護者への十分な説明と適切な情報提供が実施されている。講習に関する校内研修を実施し、土曜講習の在り方を研究することができた。 様々な進路希望に応じた職場体験等の実施を含めた3年間を見通したキャリア教育計画の作成が必要であると分析している。	進路指導についての「自己評価」はほぼ適切である。進学実績は保護者・地域の期待に込めている。より一層の実績を積み上げて地域のリーダーとなり得る人材育成をしてほしい。
改善方策	3年間を見通した進路指導計画を確立させる。高大接続改革に関する研修と対策を更に充実する。	
健康安全指導	特別な支援や不登校傾向のある生徒への対応に関する組織体制の充実を図ることができた。今後、関係機関との連携強化や保護者へのアプローチの充実を図りたい。業務継続計画の見直しを行った。	健康安全指導についての「自己評価」はほぼ適切である。より一層、教育相談、生徒理解を進めてほしい。
改善方策	個人情報保護に十分配慮しつつ、教員間での指導体制の充実を図る。防災・減災への意識を高揚させる指導の充実を図る。	
信頼される学校づくり	地域の活動や行事への参加等を通じて地域との連携を深めることができた。保護者面談の充実やP T Aと連携した教育活動の充実を図ることができた。より一層の広報・情報発信に努めたい。	保護者、地域との連携を深めることができている。保護者、地域の期待にこたえるより一層の教育活動の充実を図ってほしい。
改善方策	各学年・分掌・部活動の取組を通じて保護者、地域との連携を強化する。中学校への広報活動の在り方を検討する。	
教職員の資質向上	教科・分掌・全体研修は確実に実施し、学校課題解決に向けた取組を確実に行った。教務部とS S H事業と連携し、コンピテンス基盤型教育の確立とA Lの研究・実践を深めることができた。	教職員の資質向上の「自己評価」はほぼ適切である。
改善方策	課題を明確にした研修会の充実、教育者としての意識の高揚を図る。	

公表方法	学校ホームページ
------	----------

3 添付資料

- (1) 平成30年度学校評価 自己評価 全定各1部
- (2) 平成30年度学校評価 学校関係者(学校評議員)評価書
- (3) 平成30年度第2回学校評議員会議事録